

A-22 タバコ生産と住居及び住生活

東北大学 佐々木嘉彦

大籠は全国有数のタバコ生産地帯にある。タバコ生産は家族労働にたよるきわめて労働集約的な生産で、温床管理、葉編み、乾燥及びその管理、吊上げ、調理、堆積醗酵など多くの過程で長期間住居その他諸施設が使われる。葉の管理はその性質上細心の注意が必要であり、処理過程が複雑でかつ、葉の移動がはげしいため、作業に使われる空間には種々の機能が要求され、住居その他に多くの影響を与えかつ住生活にさまざまなゆがみを生じている。またタバコ作業自体の要求を十分に充たされているわけではなく、多くの問題を残しながら処理されている。近時乾燥室を設けて矛盾の解決をはかる傾向が上層農家にあらわれているが、なお多くの点で問題がある。

- (1) タバコ生産及びその作業過程について
- (2) 住居及び諸施設の使われ方について
- (3) 住生活のゆがみ及びタバコ生産上の問題点について。